

1. ACECC の概要

1998 年にマニラで開催されたアジア土木技術国際会議の成功を踏まえ、主催した JSCE (日本)、ASCE (アメリカ) および PICE (フィリピン) の 3 学会が、アジア地域の学協会の連合組織を設立するための準備を進めた。その後、CICHE (台湾) および KSCE (韓国) を加えた 5 団体により、1999 年 9 月 27 日に“アジア土木学協会連合協議会 (ACECC)”が正式に発足した。現在は、発足時の上記 5 団体の他、IE Australia. (現 EA、オーストラリア)、VFCEA (ベトナム)、MACE (モンゴル)、HAKI (インドネシア)、ICEI (インド)、IEB (バングラデシュ)、IEP (パキスタン)、NEA (ネパール)、FMES (ミャンマー)、Moscow Department of the Russian Society of Civil Engineering, MD-RSCE (ロシア)、ENZ (ニュージーランド) が加盟し、16 団体により構成されている。

土木学会では、今後ますますその重要性が高まるアジア地域を対象とした活動を進めていく上で、ACECC をその活動の中核的組織と位置付け、ACECC を軸足においた国際展開を行っている。

(1) ACECC の目的

1. 土木および関連分野での科学技術の発展
2. あらゆる分野の技術者間の情報交換
3. インフラ整備とマネジメント、環境の保全、防災などの活動の活発化
4. メンバー学協会間の意見・情報交換
5. 地域、国家、国際的の活動を支援と協力
6. メンバー学協会の活動強化に対するアドバイス
7. ACECC 主催のアジア土木技術国際会議 (CECAR) の 3 年毎の開催

(2) ACECC の組織

最高機関として理事会 (Executive Committee Meeting : ECM) があり、年 1~2 回の理事会を開催。

また、理事会の下に、ACECC の活動方針を協議する「企画委員会 (PCM)」、後述する TC の活動を取りまとめる「技術調整委員会 (TCCM)」、予算を管理する「財務委員会 (FCM)」、CECAR などのイベントを取りまとめる「CECAR 組織委員会 (LOC)」が存在する。



2. ACECC の具体的な活動

(1) 技術委員会 (TC : Technical Committee)

2001年に最初のTCが設けられて以来、現在までに29件のTCが設置されている。日本(JSCE)はACECCの加盟国の中でも極めて活発な活動をしており、29のTCのうち、活動中のTCを含め10個のTCを担当してきた。各TCの活動期間は最低3年であり(延長可)、3年毎に最低1回セミナーを開催し、TCの活動成果をACECC内外に発表することが求められている。

<TC 一覧>

	Title	メンバー派遣
TC1*	Asian and Pacific Coastal Network (JSCE)	終了
TC2*	Integrated River Management (JSCE)	終了
TC3*	Inter-regional Cooperation for Great Mekong Sub-region (JSCE)	終了
TC4*	The Sumatra Offshore Earthquake and the Indian Ocean Tsunami (JSCE)	終了
TC5*	The Sustainable Development of Civil Engineering (CICHE)	終了
TC6*	Quantitative Risk Assessment for Hazard Mitigation (ASCE)	終了
TC7*	Disaster Mitigation and Preparedness Strategies (PICE)	終了
TC8*	Harmonization of Design Codes in the Asian Region (JSCE)	終了
TC9*	Infrastructure Report Card(KSCE)	終了
TC10*	Life-Cycle Consideration in Civil Engineering(ASCE)	終了
TC11*	Code of Practice for the Use of Stabilizing Agents in Flexible Pavement (EA)	終了
TC12*	Railway Technology Renewal and Expansion in Asian region (JSCE & CICHE)	終了
TC13*	BIM (CICHE & KSCE)	終了
TC14	Sustainable Infrastructure (ASCE)	○
TC15*	River Environment (JSCE & KSCE)	終了
TC16*	ITS-based Solutions for Urban Traffic Problems in Asia Pacific Countries (JSCE & KSCE)	終了
TC17	Ethical Practices to Reduce Corruption (ASCE & PICE)	○
TC18	Adoption of Standard Operating Procedures for Design, Construction and Maintenance of Long-Span Bridges (HAKI & KSCE)	-
TC19*	Promotion of the Asian Concrete Model Code in the Asian Region(KSCE)	終了
TC20*	Renewable Energy for Sustainable Development in Asia and Pacific Countries(KSCE)	終了
TC21	Transdisciplinary Approach for Building Societal Resilience to Disasters (JSCE)	○
TC22	Retrofitting and Strengthening of Existing Infrastructures (IEP & IEB)	○
TC23	Applications of Geosynthetics for various civil engineering disciplines (CICHE)	-
TC24	Gender and Development in Infrastructure (PICE)	-
TC25	The guidance of civil infrastructure practitioners in the design and construction of stabilized pavements in the Asia-Pacific Region (EA)	○
TC26	Climate Change, Water Resources, and Sustainable Development in the Asian Region (ASCE)	-
TC27	Interdisciplinary Strategic Foresight for Infrastructure (PICE)	-
TC28	Application of Monitoring Technology for Infrastructure Maintenance (JSCE)	○
TC29	Network Construction and Joint Utilization of Large Experimental Facilities (KSCE)	-

(2) アジア土木技術国際会議（CECAR）

3年に一度、アジアの1,000人規模の産官学の研究者、技術者らが一堂に会する会議で、2019年4月にCECAR8が東京で開催、2022年9月にCECAR9がインド・ゴアで開催された。次回CECAR10は2025年10月21-24日に韓国・済州にて開催予定。



CECAR9の開会式の様子



CECAR9における Award Ceremonyの様子(TC21)

(3) Future Leader Forum (FLF)

アジア諸国の若手技術者の交流の場の提供、今後の ACECC 活動を担う若手の発掘・育成をめざし、2017年より年1回程度のペースで開催。若手同士ではSNS等を使って交流を深めている。

(4) 表彰制度

Subcommittee on ACECC Awards を設置し、「Civil Engineering Project Award (プロジェクト賞)」「Civil Engineering Achievement Award (功績賞)」「Technical Committee Award」の3つの表彰を CECAR 開催時に行っている。

3. 土木学会 AGECC 担当委員会について

(1) メンバー

JSCE 代表：山口 栄輝（九州工業大学）

副代表：大西 博文（片平新日本技研）

委員長：加藤 浩徳（東京大学）

副委員長：井澤 淳（鉄道総合技術研究所）

副委員長：山田 菊子（東京工業大学）

幹事長：井上 雅志（エイト日本技術開発）

委員兼幹事：福林 良典（宮崎大学） ※TC14 担当

小野 智広（(独)国際協力機構）※TC17 担当

目黒 公郎（東京大学） ※TC22 担当

山本 憲二郎（東京大学大学院） ※TC22 担当

朴 希眞（高速道路総合技術研究所） ※TC25 担当

中野 雅章（日本工営(株)） ※TC28 担当

合田 哲朗（日本工営（株））※TC28 担当

RAJALI MAHARJAN（運輸総合研究所） ※FLF 担当

ELLEN WANG（近代設計）

森 範行（土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター）

土橋 浩（(一財)首都高速道路技術センター）

顧問：堀越研一（成和コンサルタント株式会社）

事務局：澁谷 有希子、荒井 康司、杉野 詞音

※ 必要に応じて幹事を随時追加

(2) 今後の活動方針

- ・ JSCE が参加する TC 活動の強化／各学会との連携に基づく Multi-lateral な活動の支援
- ・ 土木学会国際センターとの連携強化
- ・ 日本の土木技術のアジアへの展開（日本の技術輸出）

TC 活動や CECAR、ECM に併せて開催されるセミナー等を通して、日本の土木技術（建設技術、解析技術、設計技術等）の展開を深める。→ ゼネコンやコンサルが受注しやすい環境作り

- ・ FLF（Future Leaders Forum）への活動支援・強化

など、より実質的な活動を実施出来るよう検討を進めている。

以上